

# 現在のたたかいの糧に！

本書を何故、この時宜に発行することになったのか。一つには、昨今の日本政府（安倍内閣）の安保法制（戦争法）、沖縄県民の民意を無視した辺野古新基地建設等の動きは、戦前の治安維持法下の民衆運動への弾圧、日中戦争から太平洋戦争につながる時代背景に酷似しており、あらためて近代沖縄の民衆運動を学び、その教訓をくみとることが大事ではないかということからです。（「監修にあたって」より）



好評発売中！

出版 あけぼの出版  
出版協力 治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟沖縄県本部

A5判 264頁 定価 1,600円 + 税

## 沖縄の民衆運動はまさに反戦平和の「源流」

その源流は、本土に渡った沖縄県人の人権蹂躪に対する抵抗にあった。この流れを見れば、平和憲法の人権の仕組みがよくわかる。人は個人として尊重されるべきである。差別されたり、虐げられてはいけぬ。そのために、人は集会を持ち、集団を創る。そして訴え、抵抗するのだ。

「職工求ム、但シ、朝鮮人、琉球人、オコトワリ」。働く権利の闘いは、差別との戦いであり、労働組合結成の契機であり、結社の自由、思想信条の自由の獲得を意味した。本土の沖縄県人会は、単なる親睦団体ではなかった。県人に対する不当な差別と闘い、生活と権利を守るため、必然的に労働運動と結びついたのだ。闘わなければ要求実現や権利獲得はできない、切羽詰まった状態であった。

公衆に政治参加を広げた普通選挙法と集会や結社等を厳しく取締まる治安維持法が同じ年に定められた。この意味と動きがよくわかる一冊。

高良鉄美（参議院議員・憲法学者）

### 注文書

2019年 月 日

注文部数 部

お名前	
送付先	〒
お電話	

### あけぼの出版

〒900-0016 那覇市前島 3-1-17

Tel 098-861-9145 Fax 098-861-9148  
E-mail akebono2@ii-okinawa.ne.jp  
URL www.ii-okinawa.ne/people/akebono/